

「東京真田町の会」会報

# 日本タボス

令和7年(2025年)1月10日



おもいでをつまったふるさと

NO.

37

写真提供：会長 深町共榮



親善訪問スイス連邦ダボス町にて（敬称略，2024 年 7 月 11~15 日）：左より真田地域自治センター地域振興課望月領都，同センター長北沢秀一，上田市議会議長池田総一郎，アイスセンター施設管理者，上田市町土屋陽一，ダボス副町長ヴァルサー，交流コーディネーター；ビショフ，通訳コーディネーター；アリサ（p4~6 に関連記事）



パーティションで仕切られた会議室の室名はS A N A D A.（p4~6 に関連記事）

「東京真田町の会」のホームページを探すには: キーワードに括弧「」内の文字を使って検索して下さい。  
検索にかからない場合は <http://fukamachi1129.ec-net.jp/sanadamachi/> をご使用ください。

# もくじ

| 番号 | 表 題                                 | 頁                          |
|----|-------------------------------------|----------------------------|
| 一  | 表紙                                  | 編集部 一                      |
| 二  | 親善訪問スイス連邦ダボス町にて                     | 上田市 二                      |
| 三  | もくじ                                 | 編集部 三                      |
| 四  | ご挨拶                                 | 四                          |
| 五  | 地域の紡いだ力を将来の財産へ                      | 会長(傍陽) 深町 共榮 四             |
| 六  | 次世代に誇れる魅力ある地域づくりを目指して 上田市議会議員 池田総一郎 | 上田市 陽一 四                   |
| 七  | 新しい挑戦を続ける地域になるために 真田地域自治センター長 北沢 秀一 | 北沢 秀一 五                    |
| 八  | 平和への思いを新たに                          | 上田市議会議員 古市 順子 六            |
| 九  | 故郷より                                | 上田市議会議員 佐藤 論征 七            |
| 一〇 | 「平塚らいてう」が想いを馳せた四阿・・・                | 上田市議会議員 齊藤加代美 八            |
| 一一 | 国産国産・地産地消の促進に向けて                    | 信州うえだ農業協同組合代表理事組合長 眞島 実 九  |
| 一二 | ふるさとだより                             | 信州うえだ農業協同組合監事 柳沢 文人 一〇     |
| 一三 | ふるさとの明日を築く商工会                       | 真田町商工会会長 丸山 進 一一           |
| 一四 | 東京真田町の会に初めて参加させていただきました!            | 東京上田会会長 倉沢 裕 一二            |
| 一五 | 今、はやりのアンチエイジングについて                  | 静岡大学客員教授光と風の研究所長 堀内 道夫 一二  |
| 一六 | 真田町のりんご屋で候                          | (傍陽) 杉山 明 一三               |
| 一七 | 営業マン人生                              | 理事(真田) 坂口 英一 一四            |
| 一八 | 第三十七回総会および懇親会の報告                    | 編集部 一四                     |
| 一九 | 会員皆様の近況                             | 編集部 一七                     |
| 二〇 | 令和5年度会務報告書・同決算報告書・                  | 令和6年度事業計画・同予算案・役員名簿 編集部 二〇 |
| 二一 | 自然に囲まれて                             | 会長(傍陽) 深町 共榮 二二            |
| 二二 | お知らせ 会員消息・第三十八回定期総会の予告・入会の条件が       | 編集部 二三                     |
| 二三 | 緩和されました・年会費を改訂・広告御礼・編集後記にかえて・・・     | 編集部 二五                     |
| 二四 | 第三十六回 総会および懇親会のもよう(写真)              | 編集部 二五                     |



## ご挨拶

会長 深町共榮

(田中・旧姓山岸)



今年は、元日に能登半島大地震が発生し、その復興中に9月の豪雨による大洪水が重なり二重の被害に見舞われた被災地の皆様には、適切なお見舞いの言葉が浮かびません。この苦難にも関わらず、被災者の多くの方々が地元に残まり、復興を決意されるその力強さに感銘を覚えます。

昨年発覚した裏金問題を抱えた自民党は、この秋の衆議院選挙にて大敗し、与党が過半数を割り、政局が不透明になりました。これからは、この民意の声を政府はしっかりと受け止め、悪習を排し、新風を汲んだ政策を実行に移してもらいたいものです。

今年も、5月19日、アルカディア市ヶ谷にて、「第37回東京真田町の会」総会・懇親会を盛会に開催

することができました。総会の席で、アンチエイジングに関する研究をされている静岡大学客員教授の堀内道夫氏には、「マイクロウェーブが癌を治す」のお話を伺うことができ、高齢化が進む会員の方々には、大変興味深い内容であったと思います。しかし、私事で恐縮ですが、このお話の直後、CT検査にて直腸癌が見つかり、オストメイトの手術を受け、8月一か月間入院してしまいました。その後の経過は良く、体力も次第に回復しております。しかし、このために真田まつりなど真田郷の行事等に参加できず、また、会の運営にも停滞をきたし、会員増対策や上田市ふるさと会の統合などの取り組みがおろそかになり、大変申し訳ありません。

上田市は、地方移住に人気があり、関東で活躍後、Uターンする方も増えています。この会報に記事を寄稿いただいた、杉山昭氏はUターンではないのですが、神奈川県出身者で、真田の郷が気に入って、リンゴ栽培をされて地区の活性化に尽力されております。

Uターンの私は、地元の活性化に思い当たることがあっても行動に移せないままです。ただ一つだけ文系の長野大学の公立化にあたり、地元産業の活性化と高度専門家の育成にと、理工系学部と大学

院の設置を強く要望したことがあります。この答申後、理工系学長を迎え、10年後の2026年春に理工系学部が開設されます。

コロナが5類となつて2年が過ぎ、社会生活もコロナ禍以前に戻りつつあるものの、コロナで失われた人的交流の消失はなかなか回復出来できません。コロナ前、当会は、秋にふるさと訪問をしていましたが、コロナ後の現在、復活の兆しが見えず、地元との交流が希薄になったままです。地元との交流に関し、会員皆様のご意見を期待しております。

真田地区では、コロナと関係はませんが、加入者減により1年半ほど前に有線放送が廃止となりました。この有線放送に代わり、スマートフォンを利用した、「キクもん」の試験運用が始まりました。キクもんがどのように普及できるか期待をこめて見てまいりましょう。

**第38回東京真田町の会は、令和7年5月18日、アルカディア市ヶ谷にて開催予定です。**

役員一同、会が盛り上がるよう努力しておりますので、会員の皆様も一人でも多くご参加いただけるようにご配慮の程宜しくお願い申し上げます。

【原稿】依頼 2024年9月20日、入稿同年11月6日

## 地域の紡いできた力を 将来の財産へ

上田市長 土屋陽一



東京真田町の会の皆様には、御健勝で御活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、本年度真田地域に関する大きなトピックスとして、国際姉妹都市スイス連邦ダボスへの訪問について御報告させていただきます。

ダボスとの姉妹都市提携は、昭和初期にオーストリアのスキー名手であったハンネス・シュナイダー氏が菅平高原を訪れた際、その美しさを絶賛したこと、また、菅平高原の景観がダボスに似ていたことなどから、昭和51年に菅平高原スキー場の開設50周年を記念して旧真田町と締結したものであります。ダボスとは令和8年に姉妹都市提携50周年を迎えるにあたり、7月11日から15日にかけて3泊5日の日程でダボスを訪問し、

ヴィルヘルム町長と意見交換を行ってまいりました。片道14時間という遠路でしたが、13日には、朝からダボス政府の歓迎を受け、一日かけて市内公共施設等の視察や意見交換を行いました。視察先の一つであるコングレスセンターでは、世界経済フォーラム、通称ダボス会議も含め、年間100件を超える会議が開催されますが、メインホールに次いで大きな会議場に「S A N A D A」の名を冠した会議場があり、世界中から要人が集まるダボスの地にS A N A D Aの名前を見つけたことに深く感激いたしました。

ヴィルヘルム町長との意見交換では、50周年の記念事業を開催する際には上田市への来訪もいたadakよう強く提案申し上げました。

また、8月20日には在日スイス大使館を訪問し、今後の交流に関する支援を申し上げたところです。このような交流が、グローバルな時代に子どもたちに残せる財産として、また、多くの市民の皆様にも、多文化交流による地域の誇りと人のつながりを広げていく姉妹都市事業を展開し、さらには観光インバウンドにもつながる市の将来の財産となる事業として力強く進めてまいります。

さて、令和10年に長野県での開催が内定しております、第82回国

民スポーツ大会開催まで4年となりました。令和6年度は、市内に準備室を設置するとともに、上田市のほか関係機関・団体で組織する準備委員会を立ち上げ、各団体や地域住民の皆様との協力体制を構築し、大会が有意義なものとなるよう準備を加速してまいります。

菅平高原においては、ラグビーフットボールの競技が行われますが、その競技会場でもある菅平高原スポーツランド及びアリーナにおけるネーミングライツの取組について申し上げます。

市では、今年度から、所有する公共施設等に企業名や商品のブランド名などを付与するネーミングライツのガイドラインを定め実施してきたところであります。この度、両施設につきまして、「スポーツを通じて社会を豊かにする」を会社の使命として掲げ、スポーツブランド「アンダーアーマー」の日本総代理店として事業を展開されている株式会社ドームと、市として初となるネーミングライツの契約締結に至りました。この契約締結を契機として、両施設は

【アンダーアーマー菅平サニアパーク】【アンダーアーマー菅平アリーナ】として新たなスタートを切りました。行政と民間のそれぞれの強みや専門性を生かし、一層の連携を深める中で、活力ある個

性豊かな地域社会の形成と発展、及び市民をはじめとしたアスリートの皆様へのサービス向上に取り組んでまいります。

今後も引き続き、「市民力」と「共感力」を大切に、皆様との協働により、力強く市政を推進してまいります。東京真田町の会の皆様におかれましても、ふるさと上田市を温かく見守っていただき、引き続き変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京真田町の会の益々の御発展と深町会長はじめ、会員の皆様のお多幸を心から祈念し、会報「日本ダボス」に寄せるあいさつといたします。

【原稿】依頼2024年9月20日、入稿同年11月25日

次世代に誇れる、

魅力ある地域づくりを

目指して

上田市議会議長 池田 総一郎



東京真田町の会の皆様におかれましては、日頃からひとかたならぬご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。また、5月に開催されました東京真田町の会総会におきましては、私ども上田市議会の議員をお招きいただきご歓待いただきましたことに改めて御礼申し上げます。皆様方の郷土に対する強い思いを直接伺いすることができ、改めて心強さを感じるとともに、皆様の期待に応えるべく、その責任の重さに身が引き締まる思いでございます。

コロナ禍の影響が終息に向かい、社会経済行動が再開する中、私たちの生活もコロナ禍前の日常を取り戻しつつありますが、能登半島地震などの自然災害や物価の上昇、中東地域に起因する国際情勢の不安定化など、まだまだ厳しい状況が続いております。

こうした中、去る7月11日から15日にかけて市長とともに姉妹都市のスイス連邦ダボス町を親善訪問し、ヴィルヘルム町長と意見交換を行ってまいりました。ダボス町は、昭和51年3月25日に旧真田町が姉妹都市提携を結んだ都市で、人口1万人と小さい町でありながら、世界経済フォーラム(世界ダボス会議)が開催される山岳リゾート地として世界に名を轟かせております。姉妹都市提携以降、互



いに親善使節団の訪問やスキーインストラクターの交流、子どもたちのホームステイなどの交流を続けてまいりましたが、新型コロナウイルスのパンデミックや世界情勢などにより交流が途絶えておりました。

平成23年以来、13年ぶりの親善訪問でしたが、ダボス政府の歓迎を受け、一日かけて市内公共施設等の視察や意見交換を行いました。

世界経済フォーラム(ダボス会議)が開催されるコンGRESセンタールを視察しましたが、メインホールに次いで大きな会議場が「SANAADA(さなだ)の間」という名を冠していることを発見しました。世界的な会議場の場所に「真田」の名があることを誇らしく思うとともに、遠く離れたダボス町との絆を強く感じました。

ダボス町との姉妹都市提携は、再来年の令和8年に提携50周年という節目を迎えます。今回の親善訪問を契機に、人的・経済的な交流がさらに深まり、双方の発展につながることを期待しております。結びに、市民の皆様にご期待される上田市議会として更なる研鑽に努めてまいりますので、東京真田町の会の皆様の変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げますとともに、東京真田町の会の益々の発展と会員の皆様のご多幸をお祈りいたします。

「原稿」依頼 2024年9月20日、入稿  
同年10月18日

## 新しい挑戦を続ける 地域になるために

真田地域自治センター長

北沢 秀一



東京真田町の会の皆様には、お健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

また、30年以上の長きにわたり、会の運営、発展のため御尽力賜りました役員の皆様並びに会員の皆様に、改めまして敬意を表するとともに、深く感謝申し上げる次第でございます。

5月の総会でも御挨拶申し上げましたが、4月から真田地域自治センター長を務めております北沢秀一です。生まれ育ったこの真田地域の発展に向け、行政として携われることは大変光栄であると同時に、与えられた重責に改めて身

が引き締まる思いであります。

さて、ここ真田地域は今年度多くの話題がございます。

一つ目が、菅平高原に所在するスポーツ施設についてです。スポーツブランド『アンダーアーマー』の日本総代理店として事業を展開されている株式会社ドームと、市として初となるネーミングライツ契約を締結し、2つの施設において令和6年4月から3年間【アンダーアーマー菅平サブパーク】として供用を開始いたしました。

全国的にスポーツ合宿地として知名度ある菅平高原と、世界的スポーツブランドであるアンダーアーマーの提携により、菅平の名を冠する新たなロゴマークがついたウェア等の商品も販売されるなど、地域の誇りも高まったものと感じております。このようなチャレンジを通じて、菅平高原の価値をより多くの方に感じていただければと考えております。

二つ目が、スイス連邦ダボス町との姉妹都市交流についてです。約50年前の昭和51年に、菅平高原スキー場開設50周年を記念してダボスと姉妹都市提携を結びましたが、令和8年に提携50周年記念を迎えるにあたり、7月にダボス町との記念事業の開催に向けた意見交換を行ってまいりました。ダ

ボスは世界経済フォーラムの開催地として有名ですが、姉妹都市交流については現地の状況のわかる資料が少なく、本訪問にこぎつけるまでに苦労いたしました。しかし、現地に赴き、目で見て、ダボスの皆様と直接会話をすることで、改めて人と人の交流の大切さを感じました。今後交流事業の詳細を話し合って参りますが、人の繋がりにより紡がれてきた歴史を大切に、地域の皆さんがダボスを身近に感じられる事業を進めてまいりたいと考えております。

三つ目が、地域のデジタル化に関する事業についてです。令和4年度末まで61年間地域に愛されてきました真田地域有線放送事業が廃止となり、その代わりとなる情報伝達手段としてスマホアプリの導入を10月から進めております。有線放送のように情報を『聞く』ことを基本に、真田氏発祥の地であることから六文銭になぞらえて『キクもん』の名称でアプリを開発し、地域内の情報伝達や、紙文章の削減などを目指しております。全国的に地域社会は高齢化や過疎化により様々なサービスが減少していく流れが進んでいますが、お一人でも多くの方にデジタル化を身近に感じていただける事業を進め、安心して住み続けられる真田地域を目指してまいります。

ります。

最後に、これらの挑戦は地域の皆様が「真田に住んでいて良かった」と感じ、人の繋がり、人の温かさを通じて、自発的に事業に参加していただけるような前向きな地域づくりにつながることが大切だと考えております。会員の皆様には現況を御理解いただき、引き続きふるさとのまちづくりにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京真田町の会の益々の御発展と会員皆様の御健勝を祈念申し上げ、あいさつとさせていただきます。

【原稿】依頼 2024 年 9 月 20 日、入稿  
同年 11 月 25 日

## 平和への思いを新たに

上田市議会議員 古市 順子



今年も5月に行われた東京真田町の会総会・懇親会の折は、大変お世話になり、楽しい時間を過ごさ

せていただきました。

今年の夏は大変暑い日が続き、9月も一番高温だったとのことですが、お元気で過ごしたかったです。10月には真田の郷もすっかり秋らしくなり、朝晩は暖房も必要となり日もあります。

10月初め頃から、今年も「真田地域一周駅伝大会」の看板があらここに設置され、穏やかな里の秋の訪れを感じます。この駅伝大会は、旧真田町発足を記念して始められ、今年で66回目となるそうです。コロナで中止したこともありましたが、公民館行事でも一番長く続いています。

今年は10月20日開催の予定で、次の25チームが出場します。

- ・ 公民館分館対抗の10チーム、
  - ・ 一般参加で12チーム、
  - ・ 小学生で2チーム、
  - ・ 今年も姉妹都市の和歌山県九度山町から1チーム。
- 沿道からの応援も盛んです。

— ☆ —

さて、この頃は核兵器廃絶、世界平和を願って長年にわたって活動されてきた「日本被団協」がノーベル平和賞を受賞されました。世界平和のために唯一の被爆国であり、憲法九条を持つ日本の役割は大きい。9条はしっかり守らなければと改めて思います。

真田地域でも、戦争で犠牲にな

られた方を追悼し、平和を祈念する遺族会があります。先日、長支部の追悼式に参加させていただきました。以前は本原支部、傍陽支部の追悼式のご案内もありましたが、会員の高齢化が進み、傍陽支部は大分前に、本原支部は今年解散されたそうです。本原支部では、戦争中本原小学校にあつて、近くの広山寺に移築された奉安殿に戦没者の写真等納めて守ってこられたが、雨漏り等老朽化が進み取り壊すこととなり、経費を集めて会も解散を決めました。

奉安殿とは戦前、天皇皇后の写真と教育勅語を納めていた建物で、職員生徒全員での最敬礼と教育勅語の奉読が求められていました。戦後政教分離の徹底等で多くが撤去されましたが、神社本殿等で使われた場合撤去命令の対象外とされました。市教育委員会では10年ほど前に、市内の戦争遺跡のDVDを作成しましたが、本原の奉安殿も紹介されています。遺族会員からも「どうにか残すことはできないか」という声をお聞きしました。市指定文化財でもなく行政対応は難しい状況でしたが、関係者の皆さんのご尽力で、山家神社の境内に移築されることとなりました。経費はクラウドファンディングもされ、来年にはお披露目の予定とのことです。

会員の皆様には、向寒の折ご自愛くださいますように・  
またお会いできる日を楽しみにしております。

【原稿】依頼 2024 年 9 月 20 日、入稿  
同年 10 月 16 日

## 故郷より

上田市議会議員 佐藤 論征



東京真田町の会の皆様におかれましては、益々ご健勝、ご活躍のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より故郷にお寄せいただいておりますご支援とご協力に心より感謝申し上げますとともに、5月の総会・懇親会にお招きをいただき、大変お世話になりました。御礼申し上げます。

さて、真田地域におきましては、平成18年の市町村合併時に11,500人余であった人口（平成18年の数値は、住民基本台帳法の改正前なので外国人を含んでおりま

せん)が、令和6年の直近の統計で9,500人余まで減少してまいりました。また、高齢化率(町人口に占める65歳以上の人口割合)につきましては、平成18年の市町村合併時には24.78%でありましたが、直近の令和6年の統計では35.98%となり、65歳以上の皆様の占める割合が4人に1人から3人に1人以上への時代と入ってまいりました。

地域のことを熟知する皆様が地域の中で大きな力となっていただいて一方、若い世代が減少し人口自体が減少していることから、行事や自治会運営にも大きな影響を及ぼし始めており、それぞれの自治会において様々に検討が行われるところでございます。

また、小中学校につきましても児童生徒の数も減少傾向であり、真田中学校の学級数につきましては、1学年で2、あるいは3クラスとなってきた状況でございます。今後もこの様な状況は進んでいく傾向にあり、抜本的に地域人口を増やしていくことが非常に難しい状況です。人口減少を見据えて、新たな地域の運営のあり方が真田地域の大きな課題となっております。

このように故郷真田は非常に厳しい時代に入ってきているところではありますが、どのような社会

情勢となろうとも真田地域に住む私たちは新たな観点を持って、住民同士の絆を強め、協力し合いながら故郷真田を守っていかなくてはなりません。

私も真田地域から市議会へ出させていただいております立場といたしまして、今後も更に地域のために精進してまいります所存でございますので、東京真田町の皆様には今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆様方におかれましては、故郷真田へこれまで以上にご帰郷いただき、真田地域を盛り立てていただきまようお力添えを切にお願いを申し上げる次第でございます。結びに、東京真田町の会の益々のご発展と会員の皆様の益々の健康をお祈り申し上げ、第三十七号「日本ダボス」発行にあたりご挨拶とさせていただきます。

【原稿】依頼 2024年9月20日、入稿同年10月20日

## 「平塚らいてう」が

想いを馳せた四阿山山麓

その想いを繋ぐ

「らいてうの家」と若者たち

上田市議会議員 齊藤加代美

(旧姓 倉島・本原出身)



山下先生および上田ともし火メンバーと(らいてうの家にて)

本年度から就任した真田地域自治センターの北澤秀一センター長は真田中学校の同級生、さらにJA信州うえだ真田地区の中澤元秀事業部長中澤さんも同級であり、東京真田町の会が私たちのミニ同級会にもなりました。懐かしい話もいっぱいでき、同郷って本当に良いものですね。皆様のお気持ちを重ねました。

さて、皆様に二つのご報告があります。一つ目は、昨年の9月長地区のゲリラ豪雨で災害発生時の12時間後から2日間、自ら重機とダンプを持ち込んでくれた、小布施の「日本笑顔プロジェクト」の皆さんは、宅地内に流れ込んだ土砂の撤去などの災害ボランティア作業をしてくださいました。そこで、今年の1月26日土屋市長が自ら小布施に出向き、田中真田地域センター長とともに、感謝の意をお

### 《広告欄》

#### (有)上原重機

クレーン作業は懇切丁寧で定評のある上原重機  
へご相談下さい

Rough terrain crane/TADANO

25t/10t/7t/5t

吊上げ：鉄骨・鉄筋・住宅・

庭園(庭石・植木)・その他一般

〒389-0505 長野県東御市和 1086-1

TEL 0268-36-2369 FAX 0268-35-0502

上原重二・恵子 (大日向出身田姓一之瀬)



#### 東京真田町の会

理事 坂口 英一

(真田出身)

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-6-1

全国家電協会 2F

有限会社 エーストレーディング

☎ 03-5812-4712



伝えしながら、感謝状をお渡ししてくれました。実はこの団体をお繋ぎすることができたこともあり、私も同行させていただき感謝をお伝え出来た事は、本当にありがたかったです。二つ目には、念願の山家神社の節分でピンク鬼となり、神事中に神殿で鬼たちと大騒ぎをし(写真は24ページ)、翁に退治され境内へ逃げ込むと子供たちが泣いちゃうハプニングもありました。邪気を払うユニークなお手伝いがありましたので、ご報告します。

さて、NHK朝の連続テレビ小説「虎に翼」は、女性法曹の先駆者「三淵嘉子」の生涯に感動と勇気をいただきましたが離れませんでしたね。そして、同時代に世の女性の自立を願い、女性解放運動の先駆け「平塚らいてう」は、ご存じですか？戦後は「いつか小さな家でも建てて野の花、野の鳥と親してみたい」と、あずまや高原の一角を手に入し、彼女は一度も訪れることが無かったようですが、有志が募り「らいてうの家」を建設し今年で18年

目。私も存じ上げてはいたのですが、初めてご縁をいただき、ジェンダー法の第一人者の山下泰子先生方と訪れることができました。なぜかという、上田市の市民団体「女性差別撤廃条約実現アクション上田」ともし火」代表の磯野さんは、上田市議会に9月に請願を出

するために地域の皆さんにも賛同を得たいと、上田市主催の9月28日「市民フェスティバル」に山下先生を推薦し講演が実現しました。請願は全会一致で可決し、お陰様で上田市議会は「女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書」を国に提出することができました。時代は変われども、

ここで若い人たちに想いが引き継がれていることをご報告します。四阿山山麓の「らいてうの家」は、冬は閉まってしまいましたが、週末はいつでも来館できます。野鳥のさえずりと大自然の中、ゆったりと学びとやすらぎを求め、いらつしゃってください(写真は24ページ)。

皆様には健康にはご留意され、健やかな毎日をお祈りしています。【原稿】依頼 2024年09月20日、入稿 10月28日

皆様に健康にはご留意され、健やかな毎日をお祈りしています。【原稿】依頼 2024年09月20日、入稿 10月28日

## 国産国産・地産地消の促進に向けて

信州うえだ農業協同組合

代表理事組合長 眞島 実

東京真田町の会の皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、当JAの事業運営・地域貢献活動にご理解を賜るとともに、



信州うえだの農畜産物をご愛顧いただき心より御礼申し上げます。当JAもおかげさまで、本年11月を持ちまして合併30周年を迎えることができました。これも、ひとえに当JAを日頃からご利用いただいている皆様のご尽力あつての賜物であります。重ねて感謝と御礼を申し上げます。

さて、本年度の農業情勢につきましては、昨年に引き続き国際情勢の不安定化・円安等による生産資材・肥料・燃料等の高騰が継続しており、生産コストの増加が農家経営に大きな影響を与えております。そのような中、食料・農業・農村基本法が改正されましたが、食料安全保障の確立、再生産可能な農畜産物価格の実現、多面的機能の発揮などが盛り込まれ、今後5年間で農業の構造転換を推しすすめることとされ、農業政策は大転換期を迎えています。特に再生産可能な農畜産物価格の実現や多面的機能

### 《広告欄》



Avancé Techne Accent Corp.

(株)エーティーエーは、航空宇宙業界をはじめ医療機器などのあらゆる産業界発展に貢献しております。

事業内容 自動(組立・検査)機器、電子機器、計測器、ソフトウェアの開発及び受託生産

代表取締役社長 山岸 栄 (傍陽出身)

〒350-1203 埼玉県日高市大字旭ヶ丘字竹の台630-2

電話 042-984-3666 FAX042-984-3655

<https://www.at-accent.co.jp>

## 東京真田町の会

会長 深町 共 榮

(田中出身)

〒366-0052 埼玉県深谷市上柴町西 5-7-82

〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽 825-7

☎ 090-7225-6491

能の重要性、国消国産運動は、消費者の皆様の理解が必要でありますので、東京真田会の皆様方にもご理解・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

農作物の状況では、今のところ大きな自然災害も無く収穫の秋を迎えることができております。菅平高原レタスのPRも、6月22日に土屋陽一上田市長とともに東京大田市場へ出向き実施してまいりました。地元真田町の生産者が丹精込めて生産した農産物の魅力を首都圏へ発信し、消費拡大によるブランド化をすすめることで、地域農業の発展と農家所得の増大に繋がるよう取り組んでおります。

また、新たな取り組みとして、新鮮市真田直売所が旧グリーンファームさなだ店をリニューアルして4月27日にオープンしました。直売所は今まで隣接する市のゆきむら夢工房敷地内で営業していましたが、市の指定管理契約の終了に合わせリニューアルオープンしました。生産者と地域の皆様の交流の場となるをはじめ、菅平高原に県内外から訪れる観光客にも、安全・安心で新鮮な地元農産物を販売するとともに、国消国産・地産地消を全国へ発信する拠点として運営してまいります。観光で訪れた際は、ぜひ、ご来場いただければ幸いです。

さらに、JAフェスティバルは、本年度で30回を迎えますが全7地区で開催致しました。真田地区は、10月13日に菅平会場、10月19日に新鮮市真田直売所一帯を会場とし、りんごの直売をはじめ、菅平産の白菜、ごぼうなど地元産の新鮮な旬の野菜を販売し、地域の大勢の皆様にお出掛けしていただき盛大に開催することができました。

今後、地域に根差したJAとして、組合員をはじめ地域の皆様が安心して暮らせる豊かな地域社会を築くため、皆様に親しまれるJAとなるよう役職員一丸となってJA事業に取り組んでまいりますので、変わらずご支援・ご協力を賜れば幸いに存じます。

結びに、貴会の更なるご発展と会員各位のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。本誌「日本ダボス」に寄せるご挨拶とさせていただきます。

【原稿】依頼 2024年9月20日、入稿同年10月18日

### ふるさとだより

信州うえだ農業協同組合

監事 柳沢 文人

五月に開催された東京真田町の会総会にお招きいただき、その節は大変お世話になりました。第二部の親睦会では、郷里を同じくす



る傍陽出身の八木様、堀内様と相席となり、大変懐かしい話題に話がはずみました。総会から早半年たちましたが、会員皆様お変わりなくお過ごしのこととご思慮申し上げます。

さて、2024年は皆様に取ってどのような年でしたでしょうか。真田の地は、東北や九州地方で発生した線状降水帯による梅雨時の大雨や洪水といった被害も無く、台風も接近するも直撃する台風もなく比較的穏やかな年でありました。農作物も春先に被害を及ぼす遅霜や、梅雨明けには必ずといってよいほど発生する降雹もなく順調な生育となりました。

しかし、夏の暑さは半端ない暑さでした。農作業をするにも、昼日中の作業は出来ず、午前中と夕方の比較的気温が下がった時間帯に強いられ、思うようには作業が進みませんでした。近年にない今年の最高気温の上昇は、農作物にも少なからず影響が出たようであり

《広告欄》



土木工事 解体工事 測量 造園 除雪

株式会社山崎商會

代表取締役社長 山崎 勇治

〒386-0002 長野県上田市住吉 1039-2

TEL 0268-24-6221 FAX 0268-27-7558

e-mail : yamazaki\_shyoukai@yahoo.co.jp



山崎公認会計士事務所

Yamazaki CPA Office

公認会計士 / 税理士 山崎 友揮

(長野県上田市住吉長島 出身)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-12-7 MSビル 6F

tel. 03-6272-6539 fax. 03-6272-6765

e-mail. yamazaki@yy-cpa.com



ました。さらにこの夏の暑さは八月のお盆を過ぎても、九月を過ぎても続き、秋の味覚のキノコも十月中旬ごろの発生となりましたが、量は僅かでした。

このような気候の中、我が家の秋物野菜の種まきを何時蒔いたら良いのか大変苦慮しましたが、何とか発芽をし、大根、白菜等の収穫を迎えています。

真田の農家の皆さんも、稲の収穫も無事終わり、今はリンゴの収穫に忙しい日々を送っています。

今年四月、JA信州うえだ真田支所は、旧真田グリーンファーム跡地を改修し、新たに農産物直売所「新鮮市真田」をオープン致しました。店内には、地元農家の皆さんが丹精込めて栽培した新鮮な農産物が出荷販売され、連日多くの方が来場し買い求めていただいております。また、10月19日にはJAフェスティバルを、新たに開設した「新鮮市真田」で開催致しました。会場では、キッチンカーによる食品の販売や、菅平高原産の白菜、地元産のリンゴ、ごぼうなどが販売され、老若男女大勢の皆さんの来場をいただきました。東京真田町の会員の皆様も郷里にいらした際には、ぜひ「新鮮市真田」にお立ち寄りいただければ幸いです。

真田の里の山の木々も何時しか紅葉し、落葉の季節を迎えており、

11月7日の富士山冠雪の気象通報時には、四阿山、烏帽子岳もうつすらと白くなりました。

寒い季節を迎えますが、会員皆様のご健康とご多幸をお祈りし、結びとさせていただきます。

「原稿」依頼 2024年9月20日、入稿同年11月14日

### ふるさとの明日を

#### 築く商工会

真田町商工会 会長

丸山 進



このたびは日本ダボス第37号発行に寄稿させていただき誠にありがとうございます。

真田町商工会は「商工会の組織等に関する法律」の施行により昭和35年9月に設立発足いたしました。以来64年間、今日まで組織と事業の拡充強化に努め、現在会員240名余りの方々が参画されています。このことは行政をはじめ関係各位の深いご理解とご支援に

よるものであり、東京真田町の会の皆様にも感謝の意を表する次第です。

商工会は地域の小規模事業者を中心に組織されており、主に「事業所の経営改善普及事業」や「地域の振興事業」を行っている経済団体であります。コロナ禍が過ぎたとはいえ、ウクライナ情勢、物価高騰等により、事業者をとりまく環境は依然厳しく、廃業や後継者不足等で会員数は減少傾向にあります。そんな中で、本年は、基幹産業である菅平高原の観光業にコロナ前の賑わいが戻り、明るい兆しも見えてきています。

また、恒例の各種イベントは、5月の「御屋敷公園つつじ祭り」、8月の「真田まつり」は通常開催し、地域振興の回復にも寄与しているところ です。

一方で物価高騰、人手不足等事業者にとっては懸念される課題が多々ありますが、この状況を商工会の必要性を感じてもらえる契機ととらえ、国県市の行政機関や関係機関と連携し、存在意義を再認識していただき、取り巻く課題解決を第一に支援体制を強化しているところであります。

東京真田町会の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を頂きながら本会の事業推進にご理解ご協力をいただきますようよろ

《広告欄》

## 山口法律事務所

弁護士 山口 元彦

〒184-0012 東京都小金井市中町2-19-6  
TEL 042-407-2551 FAX 042-407-2551

誠実に、確実に、そして親切に

#### 取扱い事件

不動産に関する問題 相続問題  
金銭問題 交通事故  
刑事事件・少年事件 その他

しくお願いいたします。

おわりになります。貴会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

【原稿】依頼 2024 年 9 月 20 日、入稿同年 10 月 31 日

## 東京真田町の会に初めて

参加させていただきました！

東京上田会会長 倉沢 裕



5 月に開催された東京真田町の会では、大変お世話になりました。とうございました。東京上田会を代表し参加させていただきました。今年 6 月の東京上田会総会で会長が 12 年ぶりに交代となりましたが、先行して出席させていただきました。個人的には初参加となりましたが、参加者の皆さんほぼ全員とお話しができ、和やかな雰囲気の中、とても心地良い会合でした。

私自身ですが会長就任初年度と

いうこともあり、近隣のふるさと会総会や集いはすべて出席しました。東京真田町の会（5 月）、東京青木会（6 月）、東京小諸会（11 月）、東京東御市の会（11 月）です。それぞれ、会場や参加人数は様々ですが、共通して言えるのは各市や町の代表者はじめ議会議長や商工会議所会頭の皆さんが揃い、ふるさとの現況について詳しくお話があり、とてもよくわかりました。同じ東信地区であってもそれぞれ状況が異なっていると感じました。また共通課題として高齢化に伴う会員減少や役員のなり手不足や財政面の弱体化があります。これは、ふるさと会だけでなく同窓会なども同様です。新規会員を増やすのが一番の解決策ですが、定年延長により 65 歳や 70 歳まで働く方が増え、親睦、ボランティア的なふるさと会に目を向ける余裕がなくなってきたことが理由のひとつと思われます。

せっかくの機会ですので、東京上田会について少しお話しさせていただきます。東京上田会は 1996 年に発足し、今年で 28 年目をむかえる親睦団体です。首都圏に住む上田地域の出身者だけでなく、上田を愛する人々が集うオープンな組織で、文化や経済、人的な交流を通じて上田市の発展に寄与し、会員相互の親睦を深めることを目的と

し、現在約 600 人が会員となっており、現在約 600 人が会員となっております。会には年 1 回の総会や数回の理事会・役員会があります。最も大きな行事は秋の「信州うえだ東京の集い」です。会員や家族の他に、上田市から市長はじめ 20 名ほどの参加者も含め約 150 人が集い、交流を深めています。また、会員相互の親睦として、毎月のカラオケ部会、年 1 ～ 2 回の上田サロン（日帰り旅行や講演会等）を開催しております。上田を愛する人であれば、どなたでもウェルカムですので、気軽にご入会いただければ幸いです。

結びに、東京真田町の会のご発展を心より願うと同時に会員皆様のご健康とご多幸をお祈りしております。

【原稿】依頼 2024 年 9 月 20 日、入稿同年 11 月 16 日

## 今、はやり

### アンチエイジングについて

静岡大学客員教授

光と風の研究所長 堀内道夫

先日、真田町の総会に呼ばれて、健康のテーマで講演をさせていただきました。

私は今月で 87 歳になり既に末期高齢者になります。（末期は造語）今まで前立腺肥大、白内障、痔の

手術などを経験してきましたが、毎日、規則正しくみんなと楽しく酒を飲み天下国家を論ずる生活を送っております。

と、いうわけで、アンチエイジングについての話をせよとの依頼が来たのではないかと思います。病気の約八割は、活性酸素の毒によるものと言われています。

例えば動脈硬化は活性酸素が原因でその動脈の血栓が脳のほうに行くと、脳梗塞となり、心臓のほうに行けば心筋梗塞となるわけです。この予防法として活性酸素を中和するには、水素が最も有効とされており、この手法もここ 10 年位の研究成果で、これらの効果を知らないお医者さんも多いようです。

しかし、水素の抗酸化作用は、ビタミン C の 400 倍以上、ビタミン C の 170 倍と認められており、酸化した臓器を還元する作用により癌や白血球にも有効で、体が錆びていく老化、疲労、炎症作用にも有効





と言う論文が非常に多く出ており、水素のことを悪く言う論文はほとんどありません。

最近では、美容界、アスリートや競馬の馬まで水素を取るようで、水素は万能薬と言っても良いでしょう。

今まで効能の高い薬ほど副作用もあると言われてきましたが、水素には副作用がないので、従来の概念が覆ったのです。

また最近では、水素を作り出す腸内細菌が元気な高齢者に多いと言う調査結果も出ており医療の常識も変わりつつあります。

わが国では、癌の標準治療として手術、抗がん剤、放射線治療しか認められていませんが、それよりも水素、HHOガス、マイクロウェーブによる温熱療法の方が、末期ガンの患者に対して有効であると言う研究成果が出てきており、ステージ4でも癌は治ると言う本が好評です。(出版社さくら舎)

米国では、抗がん剤を辞める方向に向かっているのに、日本は真逆で、抗がん剤により免疫を落として癌の死亡率が増えているのです。

最後に、腸の働きがクローズアップされ「腸は第二の脳」と言われていますが腸内には善玉菌が二割、悪玉菌が一割、残りは日和見菌と言われています。このバランスが

崩れると体調が悪くなるそうです。つまり、善玉菌だけではだめで、悪玉菌も必要悪なのでしょう。

どうもこれは人間社会を象徴しているのではないかと思います。陰と陽があって、初めて社会が成り立っている。

そんな気がしますね。

【原稿】依頼 2024年10月20日、入稿同年10月17日

### 真田町のりんご屋で候

杉山 明 (真田町傍陽)

東京真田町の会の皆様、初めまして。杉山明と申します。

自分が真田町でりんご屋を営んでいることについて少しお話させていただきます。

まず簡単に自己紹介します。

杉山明 (48歳) 神奈川県藤沢市出身、妻と2人

東京農業大学卒業後、東京都立園芸高校で8年間非常勤講師

30歳で真田町へ移住、2年間の研修後独立就農、今年で就農16年目のりんご専業農家です。

神奈川県藤沢市出身の私が真田町へ来てりんご農家になった経緯からお話します。大学卒業後、教員になるべく農業高校で講師をしながら教員採用試験の勉強をしていました。当時は採用枠があまり多くなく、なかなか採用試験に合格



背景はシナノゴールド

できませんでした。5年ほど経った頃、学校で子供達に農業を教えるのもやりがいいがあったのですが、一から自分の力を以って農業で稼ごうと思うようになり、長野県新規就農親制度を利用しりんご屋になりました。

県外から来た人間なので、様々な組織(JA生産部会・JA青壮年部・長野県果樹研究会・農業青年クラブ・消防団等)に所属し、地域に溶け込むことで5年ほど経った頃には近所の方々に、もう何十年も前からいるようだ、と言っていただけになるようになりました。

そうして地域からの信頼を得られると果樹園も徐々に増えていき、現在は3haでりんご栽培をしています。

当真田地域でも御多分に漏れず農業後継者は不足しています。そんな中私は様々な場所で、就農した経験談や農業についての話をさ

せてもらっています。真田地域小中学校からの農業体験・講演依頼もすべて受け入れています。そこで農業の楽しさや苦労、そしてこれが一番大事な事ですが、農業が儲かる仕事だ、ということを地域の子どもたちに伝えていきます。それにより子供たちが将来職業を考えた際、農業が職業選択の一つになるのではないかと考えているからです。自分の話を聞いた何百人かの一人でも真田に帰ってきて農業をやってくれるのではないかといい期待を込めて。

また昨年新宿で行われた長野県就農相談フェアで20分ほど話をしたところ、話を聞いた20代のご夫婦がこの四月より、真田でりんご農家になりたいと、うちで研修を行っていただきます。令和8年には独立就農する予定です。

昨今温暖化が進み長野県内でも果樹栽培が難しくなる地域が出てきていますが、真田地域は今一番いい美味しい農作物ができる地域になってきています。

これから私は真田の良さ・真田が農業を行うのに適していることを様々な場所で発信し、農業人口を増やしていこうと考えています。東京真田町の会の皆様にもどこかでご協力をお願いするかもしれません、その際はどうぞよろしくお願いいたします。

―杉山明、真田町のりんご屋で候―  
ここまでお読みいただきありがとうございます。  
とうございました。

【原稿】依頼 2024年09月20日、入稿  
10月20日

## 営業マン人生

理事 坂口 英一(真田)

東京真田町の会理事坂口英一は日本ダボス36号にて自己紹介をさせていただきましたが、その続きとし「我が営業マン人生」のなか、大きな記憶に残っている経験談をお話いたします。東洋製罐の銚子営業所から横浜工場に転勤後、小生の生まれ育った長野県の客先を担当させて欲しい旨希望し、長野県担当となりました。

どの地域を担当しても必ず東洋製罐と大和製罐とは競合しておりさらに北海製罐が飲料缶部門に参入開始した時点で、多くの客先が一般缶詰製造から飲料缶詰製造へ移行しつつある時期でした。

その中で、大和製罐と競合し、更には大和製罐の資本が入っている客先を当社主要の客先にする事を小生の長野県担当としての第一目標としました。

その目標を上司、同僚に話したところ大和製罐の資本が入っている会社「東洋製罐の主要得意先になる可能性は全く無い」と言わ

れました。

## 不可能への挑戦

第一にその客先に訪問する際、必ず「新製品のサンプル」を何点か鞆の中に忍ばせ客先の社長と面談できる際には即座にその「新製品のサンプル」を机の前に提出しました。その社長との面談が継続した後、その客先の専務(後の社長)が同席される様になり更にその社長、専務も含め試飲をして頂ける様になりました。

もちろん訪問、面談出来ない時は必ず「新製品のサンプル」を別便でその新製品内容を含めお届けしました。その試飲の際、社長が美味しいとか興味を示された「新製品」については1ケースを社長の自宅にお届けしました。ある時社長から、この前自宅に届けてもらった新製品を孫に飲ませたら大変美味しいと飲んだ。については当社の新製品化を進めさせるので至急デザインを作成する様、専務も同席され指示を戴きました。もちろんその新製品を東洋製罐に発注して戴きました。

そのお客様は長野県でも自社飲料製品を多く手掛けておられる規模になっていく状況ではなく多くの数量を期待できるものではありませんでした。新製品を受注する事により大和製罐の資本が入っている客先にCAN(東洋製罐)の

マークが入った空缶を納入する事が出来ました。

その後、その客先の殆どの新製品についてデザイン作成から東洋製罐への発注となり、更に「既存品」の一部東洋製罐への発注と繋がりました。

その様な経過より担当十年経過時点では、その会社が発注される容器の約七割、年間取引額十億円をゆうに超える結果となりました。

以上の経験は客先が何を考え、希望しているか、それを手助け出来るのはどの様な事か、から始まった行動であり、「長期間を前提に立てた営業マンの行動目標」でした。

小生の営業マン人生の体験の一部を簡単にご紹介しました。以上の「営業マン経験」を今後とも生かした行動を継続したいと考えております。

【原稿】依頼 2024年9月1日、入稿  
同年9月18日

## 第三十七回定期総会

### および懇親会の報告

信濃の国(斉唱一、二番)

## 1. 総会

司会 理事荻原啓治

### 1.1 開会のあいさつ

会長・事務局長 深町共榮

ご多忙のなか、本日の三七回定期総会にご出席いただきありがとうございます。とくに、遠方よりのご来賓かたがた上田市行政、真田自治センター、JAうえだ、さらに諸団体の皆様には心より厚く御礼を申しあげます。新年早々に地震に見舞われた能登の皆さんにとつて、いつときも早く復興されることを願っております。

本会の会員数も年を追うごとに少なくなり、いまは70名です。会員増へのよいお知恵をおもちでしたらお教えいただきたく思います。さて、本会は真田町三十周年を記念して真田町主導のもとに発足したものであります。そしてこんにちまで、出身地真田町の名を冠して活動してまいりました。いまでも、地域自治センターのご支援をいただいて運営しておりますので、北沢様なにとぞよろしくお願ひします。

今日は、堀内先生から「アンチエイジング・・・」のお話をいただきますし、上田会副会長倉沢様からは、「ふるさと会」の運営についてお話しを伺えるよいチャンスです。そして、従来よりも懇親会の時間を多くして準備しております。

JAうえだ様と真田自治センター様からは会員の皆様にプレゼントをいただいております。ここに



厚く御礼を申しあげます。

時間の許す限り会員とご来賓皆様との交流をお楽しみいただきたくご案内いたします。

はなはだ簡単でありすが、歓迎の挨拶とさせていただきます。

## 1.2 来賓挨拶

上田市長 土屋陽一様

きようは職員の方々と一緒に参りました。

いま、ふるさと上田最近の動きをいくつか紹介します。

一つは、明日から菅平でラグビー選考合宿が始まります。菅平の二つの施設、そのサニアーパーク菅平と菅平高原アリーナのネーミングライツを(株)ドームが三年間契約で受けました。同社は Umbra Armour の日本総代理店で、そのブランドで菅平を盛り上げる企画です。

二つ目は上田城の復元計画であります。適切な資料などを探索および研究し、文化庁と相談しつつ進める方針です。

また、昭和38年に建設された(旧)市民会館について解体事業も始まります。

ご出席の会員皆さまとともに、この場の雰囲気をつくそう盛りあげて過ごしたく思います。

本日は誠にありがとうございます。

す。

JA 信州うえだ

組合長 眞島実様

上田の JA を代表して皆様にあいさつを申し上げます。きようも監事柳沢さん、事業部長中沢さん、および行政の方々と一緒に参りました。お呼びいただいたことに厚く御礼を申し上げます。

さて、農作物状況では真田でも暖かい日が続いておりますもののリンゴには霜害が、菅平には降霜があります。昨年には自然災害もありましたけれど、生産者方々のご努力で、このように本会の皆様に持参することができました。

順調に生育している農作物には、具体的に水源の整備や病虫害への対策などがあります。根幹は国の私たちの食糧保障ですので、国産国消を目指しています。

お手元の9ページに載せたように、これまでの真田直売所がチョット移転し、品そろえを増やして「新鮮市真田」として開所したことを紹介します。この6月29日には菅平高原野菜の販売を開始しますし年間をつうじて、きのこや野菜類のブランド化にも取り組みます。今後の JA 運営についても皆さまから一層の応援をいただけたことを期待しております。

本日は誠にありがとうございます。

## 1.3 議事

会長・事務局長 深町共榮

資料に基づき次の四諸報告がなされた。

- 一 令和五年度会務報告
- 二 令和六年度事業計画
- 三 令和五年度決算報告
- 四 令和六年度予算案
- 五 その他

年会費を二、〇〇〇円に改定  
これらは異議なく承認された。

写真撮影

## 2. 講演

司会 深町 共榮

演題 新しい医療「マイクロ

ウェーブが癌を治す」

静岡大学客員教授

光と風の研究所長 堀内道夫様

この講演概要を別の表題で12ページに掲載しました。

## 3. 懇親会

司会 荻原啓治

## 3.1 歓迎の挨拶

理事 一之瀬和夫

みなさまこんにちは。理事の一之瀬和夫でございます。

早朝より上田からお越しのご来賓方がた、講師先生がた、会員の皆様に御礼を申し上げます。あかるい緑の下でこの場をお愉しみにだけますようご案内いたします。

この機会に貴重なお時間をいただいて、私が携わっている会報しらかば通信やダボスの編集で、日頃のいろいろなことを皆様にお話しして、皆様方との懇親につなげたいと考えております。

私が編集に関わり始めたのは27号でした。その後、編集長であった(故)武捨衛人様から全てを任されたのは2016年の29号です。以降、携わって8年になります。この機会に日頃から感じていることなどを話したいと思います。

一つは、毎年のことながら原稿のご執筆をお願いしてる皆さまへの御礼でございます。そこに述べられたものこそ、本会会員にとつて、一番近くにあつて新しい情報となつております。年を追うごとに、薄れ消えゆくのは幼き頃を過ごしたふるさとの自然、遊び呆けた頃の情景や思い出であります。とはいえ、会員かたがたにそれらを書いていただける機会は全く少なくなくなつております。つね日頃、編集の種集めやよりどころを求めて

「ふるさとニュース」に会う度にスクラップしております。

二つ目は、広報さなだから、本原出身の高寺望夢(たかてらのぞむ)選手が2020年に阪神タイガースの指名を受けた、ことを知りました。その写真つき記事をダボス34号へ掲載しました。本会のHPには高寺選手のカラー写真も載せていますのでご覧ください。上田西からの直接のプロ入りは同校史上初。

このあと2023年の夏、関東千曲同窓会の幹事会に出向いた際、ビル一階で昇り旗阪神タイガースのグッズ販売がありました。係の方に「高寺望夢選手のはありますか?」と訊ねたところ、即座に「あア、高寺選手ですか上田出身でしたね。残念ながら一軍しかありません。一軍の内野手と年齢が近いので上がれるチャンスはみえませんか」とのことでした。

でも、たまにYouTube でみています。

三つ目は同36号の裏表紙へ載せた棚田の写真についてです。これは、わが家の孫達の令和5年版の小学社会5の表紙に載った上田市殿城(稲倉)の棚田風景より引きました。このような一端のことから上田市のHPが活躍している様子がわかって嬉しかったです。

さて、きょうの懇親会はこれまでのと少し趣を変えることにしま

した。例年のようにご来賓からのご挨拶をいただくだけでなく、お越しいただいた皆様各位から村の近況やご自身の近況などをいただきました。そのご案内は場が盛りあがる前に、司会から7ペーじのお名前順に、マイク片手にお呼びします。ので、よろしく願います。

では皆様、この機会をより楽しく十分にお楽しみいただければ幸いに存じます。

### 3.2 来賓の紹介

#### 司会 一之瀬和夫

ご来賓および出席者の紹介をいたします。ご面倒でもお立ちいただきたくおねがいします。

上田市の行政の皆様(三名)

上田市長

土屋陽一様

(長瀬中央)

真田地域自治センター長

北沢 秀一様

(横尾)

真田地域自治センター

地域振興課

望月領都様(上沢)

上田市の市議会関係の皆様(五名)

市議会議員

池田総一郎様(真田)

市議会議員

古市順子様(竹室)

佐藤 論征(真田)  
齊藤加代美様(海戸)  
高田 忍様(鳥屋)  
市議会事務局

星野陽一様(川辺町)  
JA信州うえだ関係の皆様(三名)  
組合長

眞島 実様(長和町)

真田地区監事

柳沢文人様(上横道)

真田地区事業部長

中澤元秀様(中原)

在京の他会

東京上田会副会長

倉沢 裕様(別所温泉)

講師 静岡大学工学部客員教授

堀内 道夫様

特別参加 日本環境整備機構

大胡 真人様

### 3.3 来賓祝辞

#### ○ 上田市の市議会議員

池田総一郎様

先年度の議長佐藤氏にかわり本年度からこの席を承けたものでございます。

市議会を代表しまして、これまで東京真田町の会を存続されてきたことに、心より御礼を申し上げます。

皆様がお持ちの真田への想いを私なりにあげますと、記憶としてあるのが黄色い電車の丸子電鉄、

その電車にくっついていた「黒い貨車」がありました。菅平やつまごいからのトラック貨物(野菜類)はその真田駅で貨車に積み換えられていました。

昭和の40年代、塩田でのクラス生徒の半分ぐらいは農家でしたので、3年のころ私は祖母の暮らす真田へ農繁休暇に行つたことがあります。その真田は、いまアンダーアーマーの命名権のもとにかつてないほどの活況ぶりです。

むすびに、本日の37回総会まことにおめでとうございます。

#### ○ 真田地域自治センター長

北沢 秀一様

本日はおめでとうございます。総会は37回目だそうで、いままでの諸活動、特に故郷とのつながりに取りくまれてきたご努力に厚く御礼を申しあげます。

先ほどの会長の言にありましたように、センターとしても本会の活動をバックアップしたいと考えております。合併のあと18年を経て、いま人口減と高齢化、および田畑の荒廃をまえに事業等の中止も視野に入れて、本年度は活力再生に本腰を入れる計画です。

菅平高原でのアンダーアーマー命名権や地域デジタル化の推進、および有線を開じた後の地域における情報伝達方法を探っています。



これは、上田市の先駆けとなるモデルケース創出の試金石になるものです。

夏の花火へのご支援に御礼を申しあげるとともに、つぎの第40回行事へご案内を差上げます。

これからの地域活力の創成などについてぜひとも皆様のお力をいただきたく存じます。

お招き下さったことに御礼を申しあげるとともに、本会の発展を祈念します。

### 3.4 乾杯の挨拶

JA信州うえだ真田地区監事

柳沢文人様

第三十七回総会の開催を祝し

乾杯!!

本日はおめでとつございます。

### 3.5 宴会・来賓の自己紹介

司会 一之瀬和夫

深町会長より、自治センター様からリンゴジュースをご提供いただいたことに、JAうえだ様からお米とお茶をご提供いただいたことに重ねて御礼の言がありました。つづいて、ご出席の来賓各位から自己紹介や近況報告などをいただきました(凡そ30分)。

その後は、ご来賓の話題やふる

さとの近況を交えて、カラオケなどが入ったなかで出席者相互の懇親を深めました。

### 3.6 閉会の挨拶

副会長 柴田小夜子

ご来賓および会員の皆様、この雰囲気で大いに盛りあがっておりますが、終焉もそこに迫っております。

ご来賓のみなさま、本日は誠にありがとうございました。お帰りの道中はくれぐれもお気をつけください(15時終了)。

☆ ☆

来賓を見送りのあと、反省とお愉しみコーナーで、深町会長の提供による「秋の収穫プレゼント券」の抽選がありました。幸の網にかかった三名は鈴木邦子、萩原清人、八木五郎さんでした。おめでとつございます。秋まで首をながくしてお待ちください。

☆ 総会への出席会員15名  
(敬称略・順不同)

―長(9名)―

一之瀬 和夫 大日向

萩原 啓治 四日市

川上 今朝信 菅平

坂口 英一 真田

坂口 典和 真田

柴田 小夜子 菅平・市村

鈴木 邦子 横尾・鈴木  
宮島 光男 横尾  
山口 元彦 横沢

―傍陽(6名)―

上ノ山勝信 三島平

関 弘吉 中組

萩原 清人 萩

深町 共榮 田中・山岸

堀内 照美 上横道

八木 五郎 中横道

「原稿」依頼 2024年6月5日、入稿同年12月6日

### 会員皆様の近況(注)

(敬称略・旧姓・出身地域)

#### 1 石巻哲夫(曲尾)

傍陽小学校150周年のおしらせがありがとうございました。少しばかり寄付させてもらいました。記念の冊子を送っていただき、少ない生徒数ながら、明るく頑張っている姿を見て嬉しく思っております。

#### 2 一之瀬和夫(大日向)

早いものでコロナ禍去って3年が経ちました。いま、会長のご尽力で入会者はわずかずつありそうです。退会者数を上回るにはあとひと工夫必要なようです。無関の丸子、武石、それに真田がふるさと上田連合の力になればいいですね。

小学校同級会では大日向分教場での恩師澄子先生を囲んで第二回を2023年7月に開催し、真田中は2017年に第三回をやったあとと休眠。千曲

高の同級会は第三回を2018年に開催しその後休眠。おまけは、大学同窓会で付属高校の野球応援や湘南地引網などで忙しいです。

工場勤務では速足散策でいどの負荷に対して時間給をいただき、汗して時の経つのを忘れております。ときには山行きハイイクで4時起き、トップリと沈んだ18時ごろ帰り、連続徒歩8hはあたりまえです。

#### 3 岩崎みち子(正木・菅平)

大変申し訳ありませんが、2月より主人が脑梗塞となり、出席できません。又、出席できる時には皆さんとお会いしたいと思っております。

#### 4 上ノ山勝信(堀内・三島平)

ご苦勞様です。又皆様のお会いするのを楽しみにしております。

#### 5 萩原啓治(四日市)

健康第一。毎日、仕事を楽しんでおります。

#### 6 川上年美(宮崎・菅平)

福島に娘の所にきているためで出席できなくなつたので、すみませんがよくおねがい致します。

#### 7 神林良子(上原・中横道)

母良子は、3年前から認知症の悪化およびその年に脑梗塞を患い、現在、要介護5の状態、寝たきりに

なつてしまい、現在、私が在宅介護  
をしている状態ですので、今後、こ  
の真田町の会に関するハガキ他遠  
慮させて下さいませ。かつての母  
親は、今はいません。見たとしても  
わからない状態です。真田町の会  
とやらも、今までお世話になりま  
した。そのようにお願いいたしま  
す。(長男、敬征)

# 8 倉島義明(横沢)

会員減少の折、誠に心苦しいの  
ですが、加齢に伴う体調不良によ  
り、今年度を持って退会します。  
これからも真田町の会が益々発  
展される事を祈念しています。  
長い間、ありがとうございます。

# 9 小林正子(堀内・下横道)

理事の皆様ご苦勞様です。他の  
用事と重なつてしまい、今回は欠  
席させて頂きます。教養(今日の用  
事を作り)と、教育(今日いくとこ  
ろを決める)が大事だと教えて頂  
き、心がけて元氣しています。

# 10 坂口英一(真田)

毎日元氣に仕事をしております。  
11 笹沢ケサム(久保・横沢)

体調が悪く、外出が出来ません  
ので、今年度で退会したいと思  
います。皆様の会がいつまでも続  
けられることをお祈り致します。

長い事大変お世話様になりあり  
がとうございました。本年度の会  
費は送りました。

# 12 佐藤昌江(柳沢・萩)

大変おそくなりまして申し訳け  
ございません。お友達もお亡くな  
りになったり(二人でいくのは)と  
思ったのですが又皆さんにお会い  
出来ましたら心が晴れると思い出  
席させて頂きます。どうぞよろし  
くお願いします。

# 13 椎名巳津男(山口・横沢)

今回は参加させて頂いたきます。  
皆様とお逢い出来る事、楽しいに  
しております。宜しくです。

# 14 柴田小夜子(市村・菅平)

今年も又皆様にお会い出来る事  
を楽しみにしています。友人、知人  
をお誘い下さい。お待ちいたして  
おります。

# 15 杉崎壽三男(菅平)

役員皆様方のご尽力に感謝を申  
し上げます。今回の総会は日程の  
都合により欠席となります。どう  
か当日は楽しい有意義な集まりと  
なることを希望致しております。

# 16 鈴木郁夫(横尾)

勝手ながら5月19日は、私が幹  
事の行事と重なつてゐる為、欠席  
させて頂きます。

# 17 鈴木邦子(横尾)

第37回総会、おめでとうござい  
ます。堀内先生のご講演は私等の  
凡人には理解出来るでしょうか。  
これから活躍される若い方に聴い  
ていただきたいと思います。貴重  
なお話と存じますので。

# 18 鈴木マツ子(塩沢・大日向)

長い間お世話様になりました。  
今年度を持ちまして退会を致しま  
す。先の第30回の総会に出席した  
のが最後でした。丁度今年は80才  
になります。節目の年であります  
ので退会を考えました。

長い間懐かしい情報をとてもう  
れしかったです。

# 19 関弘吉(中組)

役員の方々、ご苦勞様です。会員  
の皆様にお会いできる日を楽しま  
にしています。

# 20 武田守央(真田)

役員の皆様方々の日頃のご苦勞  
に感謝申し上げます。今回は田舎  
に用事ができてしまい出席する事  
ができず残念ですが会の盛会を願  
っております。

# 21 館野清實(堀内・田中)

欠席します。8月が来たら92歳  
になります。今、日々の生活は元  
氣でやっています。でも少しの遠  
出もできそうになく皆様によろし  
くお伝えください。

# 22 塚田加代子(宮崎・横尾)

私たち夫婦、二人共真田出身な  
ので、帰ると私の実家、そして夫の  
実家の墓参りをする。春の彼岸に  
は偶然母の実家の人と墓で出合い  
母の実家の墓参りもした。墓参り  
のはじごととなり、雪の中に顔をだ  
したばかりのフキノトウにも出会  
えました。

# 23 中島正江(関谷・戸沢)

《広告欄》

ADVANCED MANAGEMENT AND  
TECHNOLOGICAL INSTITUTE  
日本環境整備機構 - AMATI  
—SINCE 1998—

代表 大胡 真人

〒107-0052 港区赤坂 7-5-34 57号  
TEL 03-3589-4140

株式会社 アップルサイエンス

代表取締役 川崎 豊



- プロジェクトマネジメント
- ビデオ映像(会社案内など)
- ホームページ制作・メンテナンス
- CG制作

是非ご相談ください

〒381-0025 埼玉県行田市埼玉 5340-2  
TEL 048-559-5300 <http://www.applescience.com>  
Mail [kawasaki@applescience.com](mailto:kawasaki@applescience.com)

今主人が関東中央病院に入院中です。今後どうなるかちよっとわかりませんので、一応欠席としておいて下さい。病状が良くなれば出席もと？ いつも大変な事お世話様です。私は元気にしております。

#### 24 野村勝太郎(大日向)

役員さんご苦勞様です。今年は我が第二のふるさと石神井台町会の総会と重なり参加出来ません。皆様に宜しくお伝えください。小生なんとか過ごして居ます。

#### 25 堀内照美(上横道)

2018年5月の総会に参加した以来の出席ですので楽しみにしています。先日(4月20日)葛飾区長野県人会の総会が5年ぶりに開催され、出席してきました。また、6月7日に、長野県人連合会の総会があり、出席予定です。

信州を思う気持ちは一つなので、自分に出来る事をやってみようと思います。

#### 26 堀内寅次(中横道)

お知らせ有難うございます。元気で過ごしております。私92歳になり足が弱く歩行が困難になりました。ご盛会をお祈りいたします。

#### 27 堀内敏文(下横道)

連絡ありがとうございます。元気に過ごせることに感謝の毎日です。参加者の減少が気になります。当日、他の会と重複するため残念

ですが欠席します。盛会になることを祈願します。

#### 28 堀内寿美(上横道)

いつもご連絡をありがとうございます。「しらかば通信」を真田町にいた頃を懐かしく思い出しながら読ませてもらっています。

4月に入り加齢による坐骨神経痛(整形外科での診断)のため、痛くて歩行に苦勞しています。次回は出席してみなさんにお会いできることを楽しみにリハビリに頑張っています。

#### 29 堀内博典(三島平)

役員の方々、会員の皆様には大変お世話になっております。都合により欠席させていただきます。なかなか得られない田舎の情報を会から得られ、とてもありがたく思っております。これからもう少しお願い申し上げます。

#### 30 堀内 幸(下横道)

加齢を実感しています。今回も不参加ですが家の近所は散歩しています。故郷、同郷、望郷の気持ちは永久です。

#### 31 堀内保芳(三島平)

会長さん直筆のお誘いありがとうございます。御座います。私事、昨年から体調がすぐれず病院通いの日々、誠に勝手ですが「退会」させて頂き下さい。

#### 32 八木五郎(中横道)

4月20日、実家の義姉(98歳3月2日没)法事で帰省、帰省の前、

同期中組の橋詰氏(元長野県厚生課長)に伝えると音頭とつてくれ、深町会長同期の5名が曲尾の江戸屋に集まった。(毎回私の帰省の際、横尾の池田氏等が江戸屋さん予約していただいて小さな同期会をしていただいて、我は幸せ者であります。)

当日は、体二つないので、法事優先、法事行事を完全に済ませて江戸屋さんへ向かう。まだ三人残って居ていただき、我入れて四人会となり、世話ばなし、体調の話、同期の近況、"体調はどうだいや"この歳になるとアッチ・コッチ痛んでこまるだに、懐かしき郷の会話がポンポン弾んで盛り上がりつつあった。

19日午前中勤めて東京13時4分発あさまで上田着14時40分、傍陽方面は14時00分の後17時00分までなし、歩いちゃエ！松尾町、房山・川原柳、住吉、伊勢山、本原(妹宅寄る)傍陽、曲尾から川原歩いて(昔の道草)田中、下水処理場、洗馬川運動公園へ駒込橋へ実家へ。

21日帰途(祭曜日バスなし)、横尾の池田宅、本原の妹宅、竹室従姉妹宅寄つて下原、伊勢山、上田へ、結局上田から横道までの間往復歩いたのかナ！勤めも歩いているので疲れないよ。大変世話になった義姉さんの喪が解けた。好きな山へ、自転車で房州路、走ろうぜよ！文

《広告欄》

## 株式会社 千曲美装

一般社団法人 優良リフォーム支援協会会員

代表取締役 宮下 毅

〒386-0015 長野県上田市常入 1-7-104  
Tel 0268-23-7896 Fax 0268-23-7813  
e-mail t\_miyashita@chikumabiso.co.jp



アパート、マンションから  
一般住宅までリフォーム・  
メンテナンスの全てをお引き  
受けいたします。  
お気軽にお声かけ願います。



字数が多くなったので別紙へ書き  
ました。

**33 柳沢郁政(戸沢)**

松戸に住み50年が過ぎました。  
最近近所に大きなショッピング  
モール、病院、図書館もそろい、電  
車に乗って東京へ出る事も無くな  
りました。週に2回ソフトテニス  
を楽しみ、あとは喫茶店で仲間と  
だべっています。

**34 山口元彦(横沢)**

盛会になるよう願っています。

**35 若林幸一郎(大日向)**

三年前、椎間板ヘルニアを患い  
腰痛と足のしびれが継続しており  
ます。改善に向けリハビリを続け  
ておりますが遠出を控えており欠  
席させていただきます。

**36 吉川栄子(武捨・中組)**

お世話になっております。現在、  
車イス生活になり介護施設におり  
ます。外出することが困難になっ  
た為、退会いたします。残念ですが  
今まで、お世話になり、ありがと  
うございました。

(注)第37回総会の出欠返信に書か  
れた会員みなさまの便りです。

「原稿」入稿 2024年 9月18日



**令和5年度会務報告書**

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

**令和5年**

4月9日

第1回理事会 (Zoomにて行う)

令和4年度の事業および決算報告および令和5年度の実施要項および予算の検討

第36回東京真田町の会総会・懇親会 (5月21日開催) の実施内容の検討

会員増対策として会則の変更を検討

上田市ふるさと会についての意見交換を行う。

5月21日

第36回総会・懇親会開催 (アルカディア市ヶ谷6階霧島の間)

・出席者 来賓14名、会員23名 アトラクション 3名

・令和4年度会務報告、令和4年度決算報告、令和5年度事業計画、令和5年度  
収支予算が承認される。

・会則の一部変更が承認される。

講演会「地域活性化 - ふるさと快活&できる状況づくり」

講師 (工学博士) 佐藤健吉氏

7月31日

第2回理事会 (Zoomにて行う)

・第39回真田まつりへの対応の検討し、第36回総会・懇親会の反省、日本ダボ  
ス36号の発行、会員増対策について話し合う。

・コロナ以前に行っていたふるさと訪問は、今年度も見送ることにした。

8月6日

第39回真田まつり～2023夏の陣～、深町会長および坂口(英)理事が出席

10月2日

第3回理事会

・第39回真田まつりの報告。

・信州うえだ東京の集い及び第41回上田真田まつりへ出席を決める。

・日本ダボス36号の発行及び第37回定期総会についての検討

10月6日

信州うえだ東京の集い 坂口(英)理事が出席

11月5日

第41回上田真田まつり 深町会長が出席

**令和6年**

1月25日

日本ダボス36号の発行 (30ページ)

2月20日

第4回理事会

しらかば通信No.31についての内容の検討。第37回定期総会・懇親会の検討。会  
員増対策を話し合う。ふるさと交流会の検討。

3月31日

しらかば通信No.31号を発行

**令和5年度決算報告書**  
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

| 収入の部   |           |           | 支出の部   |           |           |
|--------|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|
| 科 目    | 予算額/円     | 決算額/円     | 科 目    | 予算額/円     | 決算額/円     |
| 年会費    | 140,000   | 153,500   | 総会懇親会費 | 400,000   | 359,353   |
| 上田市補助金 | 300,000   | 300,000   | 会報発行費  | 400,000   | 358,079   |
| 総会懇親会費 | 350,000   | 237,500   | 事業費    | 50,000    | 27,929    |
| 広告     | 130,000   | 110,000   | 事業通信費  | 60,000    | 40,640    |
| 寄付金    | 10,000    | 27,000    | 印刷費    | 20,000    | 3,270     |
| 利息     | 0         | 0         | 会議費    | 20,000    | 4,360     |
| 当期収入   | 950,000   | 750,866   | 渉外費    | 40,000    | 55,704    |
| 前期繰越金  | 190,618   | 190,618   | 交通費    | 30,000    | 6,280     |
| 収入合計   | 1,120,618 | 1,018,618 | 雑費     | 30,000    | 0         |
|        |           |           | 予備費    | 20,618    | 0         |
|        |           |           | 合計     | 1,120,618 | 855,615   |
|        |           |           | 返還額    |           | 0         |
|        |           |           | 次年度繰越金 |           | 163,003   |
|        |           |           | 支出合計   |           | 1,018,618 |

上記の通り収支決算を報告します。

令和6年3月31日

会計 坂口典和 ㊟

上記の決算報告書は適正かつ真実であるものと認めます。

監事 荻原啓治 ㊟

**令和6年度 事業計画**

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

**東京真田町の会役員名簿**

令和6年12月1日現在

- ① 第37回総会及び懇親会の開催  
(令和6年5月19日)
- ② 会報「日本ダボス」第37号の発行
- ③ 会報「しらかば通信32号」の発行
- ④ ホームページの運営
- ⑤ 会員相互の親睦をはかるため、関東圏の四季めぐりなどの見学会
- ⑥ 上田市の交流促進のため、ふるさと訪問の企画、真田まつり及び上田市の各種行事に参加、または特産物宅配に協力

| 職 名     |       | 氏 名   |
|---------|-------|-------|
| 会長・事務局長 |       | 深町 共榮 |
| 副 会 長   |       | 柴田小夜子 |
| 理 事     | 監 事   | 荻原 啓治 |
|         | 会計理事  | 坂口 典和 |
|         | 編 集 長 | 一之瀬和夫 |
|         |       | 坂口 英一 |
| 顧 問     | 小林 孝雄 | 山口 元彦 |
|         | 中島 正江 |       |

令和6年度予算案

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

| 収入の部   |           | 支出の部   |           |
|--------|-----------|--------|-----------|
| 科 目    | /円        | 科 目    | /円        |
| 年会費    | 120,000   | 総会懇親会費 | 450,000   |
| 上田市補助金 | 300,000   | 会報発行費  | 400,000   |
| 総会懇親会費 | 350,000   | 事業費    | 50,000    |
| 広告代    | 130,000   | 通信費    | 60,000    |
| 寄付金    | 10,000    | 印刷費    | 20,000    |
| 利息     | 0         | 会議費    | 20,000    |
| 当期収入   | 910,000   | 渉外費    | 40,000    |
| 前期繰越金  | 163,003   | 交通費    | 20,000    |
| 収入合計   | 1,073,003 | 雑費     | 10,000    |
|        |           | 予備費    | 3,003     |
|        |           | 支出合計   | 1,073,003 |

自然に囲まれて

会長 深町共榮

(田中・旧姓山岸)

大学定年退職後、本格的に住まいを傍陽曲尾に移してから十年余りが過ぎました。もともと、傍陽田中に出ですから、地元のことはそれなり分かっているつもりでしたが、40年余りも関東暮らしをして

境を損ねています。古い農家の大きな建物は、解体費用が高み、一件当たり数百万円を要しますから、その始末は簡単ではありません。山、川に恵まれた自然環境を楽しめることに憧れ、Uターンをしたのですが、いつの間にか近くで食品が買える店が消え、昔のように歩いて買物を済ますことが出来なくなっていました。バスの運

いると、上田市にすんなりと溶け込めないままです。最近、自宅の周りの散策をしていると、以前お花を分けていただいた家がか空き家になっており、周辺をよく見ると、半数近くが空き家となつています。過疎化は、少子化時代において仕方のないことですが、この空き家がハクビシンなどの住みかとなり、老朽化を伴って環

行もめつきり減り、自家用車が無くても手を取った買物が出来ません。今のところ私自身の生活においてこれと言った問題はなく、田舎生活を楽しんでいるのですが、免許証を返納すべき時期に近づいていますので、その後のことを真剣に考えなければなりません。

都会から上田市へ移住を希望する人は多いようですし、上田市も移住促進に力を入れています。その様子は、市のHPからも伺えます。真田地域は、自然が豊かで魅力的です。しかし、注意すべき点は交通手段です。バスの運行を飛躍的に増やすなどの対策が望まれます。私の居室から冬には富士山が見えることに昨午気が付きました。多分、解体された家があり、見通しが良くなったためかと思えます。不思議なもので、富士山が見える日は、晴れやかな気持ちで過ごすことができます。

真田地域発展のための一つに住環境の整備があると思います。上田市としての検討を願いたいものです。(富士山は、曲尾、萩、田中の一角から見ることが出来ます。特に、傍陽小の二階からの眺望は素晴らしいです。)

「原稿」依頼 2024年12月10日、入稿同年12月29日

《広告欄》



代行 ゆきむら

長野県公安委員会認定第 273 号：代行保険完備

代表 飯島 嘉夫

TEL 090-1504-1196

〒386-2202 上田市真田町本原 2749

営業時間 20:00 ~ 3:00



リンゴの 大松農園

小玉のサンふじ・シナノスイートは、  
2 月末まで発送いたします。

連絡先

〒386-2203 上田市真田町傍陽 3774-7

堀内 昭一

Tel.090-4017-3721 Fax.0268-75-3355



## お知らせ

### 一、会員消息

(令和6年11月1日〜令和6年10月31日)

(1) 住所変更 該当者はありません。

(2) 退会者

長年にわたり本会の運営にご協力いただいた左記の方々に厚く御礼を申し上げます(敬称略)。

神林良子、倉島義明、笹沢けさむ、鈴木マツ子、長田ムネ子、橋詰吉万雄、堀内保芳、吉川栄子

(3) 入会者 該当者はありません。

### 二、第三十八回定期総会の予告

開催日 令和7年5月18(日)

会場 私学会館アルカディア市ヶ谷(六階霧島)

### 三、入会条件が緩和されました

ご家族や友人のご入会を歓迎します

昨年の第36回総会で会則が改正されました。これにより、ご家族はもちろん、趣味仲間や友人方の入会が可能となりました。

さなだ町出身でない方でも真田町や本会に関心をお持ちであれば入会できます。これを機に、本会の活動がいつそうに盛んになることを期待しています。

皆様の交際範囲で入会を希望される方がおいででしたら、裏表紙に記載の会長までご連絡を下さいますようお願いいたします。

### 四、年会費を改訂しました

第37回総会で、令和7年度より年会費を二千元とすることが決まりました。

払込みでは、2月頃に皆様へご案内するしらかば通信32号の「令和7年度第38回定期総会開催案内」に同封される本会の「払込取扱票」を郵便局でご使用下さい。同票で払込のときは、手数料を本会が負担しています。ただし、現金で払込みをされる場合は、別途110円の手数料が必要になります。ご注意下さい。

### 令和6年度および過年度の会費が未納のとき。

令和6年度あるいは過年度の会費(一千五百円/年)も未納の方には、しらかば通信32号に同封される払込取扱票をご利用ください。

そして、同票へは「該当する年度と金額」を必ずご記入願います。

### 五、広告御礼

日本ダボス37号の発行にあたり広告掲載をお願いしましたところ、団体、企業および個人方々から多くのご協力を賜りました。

ここに厚く御礼を申し上げます。

## 編集後記にかえて

### 〈いま世界は、そして日本は〉

この数年の間に、劇的な地球環境の変化、世界動向、そしてこの国土に多くのできごとがありました。

まず、数十年前から懸念されていた温暖化が日ごと目盛りに現われてきたことです。2005年京都議定書発効の頃から、海水の影響を受けるオセアニア群島ツバルでは移住が始まっています。海抜は高いところで4.5mしかありません。

大ざっぱな計算でも深さ1kmの海水柱が2℃上昇すると、水面は0.2m上昇することになります。

懸念の一番は、すべての動植物が、このような温度変化の速さに対応できる進化能力を持っていないことです。数年前、コロナに恐々としていたとき、温暖化のことなど全く忘れておりました。これぞまさしく「ゆでがえる」。年中の高温湿は睡眠不足や作業能率の低下をもたらします。

さて、ピーチャー・ストウ女史の国で行われた2024年11月16日の、アメリカ合衆国大統領選挙(選挙人投票)の結果とこれからの国際情勢に最関心があります。民主党候補ハリス氏を破り共和党の推すトランプ氏が圧勝し、忠実なる臣下と身内一族で権力を固め始めました。これが覇権からの撤退を示

す兆候と察した各国は危機感をつのらせています。世界を進めてきたアメリカが衰退あるいは凋落したわけではなく、返り咲いたことで自発的撤退へと舵を切ったことに特徴があります。

民主主義国家と豪語しているものの、原住民を駆逐し、移民であつた祖先の末裔である自身を忘れ、これまで人種差別や性差別を内に含んだ長い歴史を持ち、いまでもその姿は変わっていません。

そして、少し前(ほんの二箇月ほど)まで、誰もが「世界は民主主義に向かっている」と、安穩とした歴史観をもっていました。いま、それは足元から崩れかけています。このまま放っておいても世界の動向は大局、民主化に進むわけはなく、外交や議論を重ね、地道に築いていく必要があります。そんな中、中学のころ聴いたラジオ放送「アンクルトムズキャビン」の記憶からカマラ・ハリス氏の生い立ちを見たような気がします。

世界覇者の退場後、流動化と混沌が待っているようです。

かなり前から、ロシア帝国の復活を目論む独裁プーチン大統領にとつての、兵士の命は国家のためにある、ことが明白になってきました。

ウクライナ侵攻に行き詰まってきたロシアは国際的に孤立した独

裁国家北朝鮮をまきこみ、1.2万人の北朝鮮兵を引きこみました。その後、クルスク州へ送られたこれらの兵士は2024年12月20日現在、一日で200人が死亡し、負傷数は千人とも報道されています。ロシア語を解さない北朝鮮兵士らはロシア軍の前線突撃兵として使われ生きて帰れる望みもありません。

ウクライナは2022年2月24日以降、世界および支援国をバックにして2年10箇月ものあいだ持ちこたえています。わたくしは、世界秩序の悪に立ち向かっているウクライナ大統領および抗戦している国の人々を支援しています。

2024年12月8日、中東の国シリアでは、父子にわたり50年以上ものあいだ独裁体制を敷いてきたアサド政権があえなく崩壊しました。11月27日に始まった反体制派の進攻から、わずか10日ほど後にアサド大統領はロシアへ逃亡しました。政権の後ろ盾だったロシアやイランは、反体制派の攻撃を受けた政権を十分に支援できずに終わりました。大統領は13年間続いていた内戦に辛くも保持してきた権力を果敢なく失い、ウクライナで苦戦しているロシアはシリアの軍事拠点を失いました。トルコを介して反政府勢力をデジタル支援していたのは優秀なウクライナ情報部です。

この独裁政権下での犠牲者は40万人ともいわれ、さらに惨いことに10万人もの政治犯が処刑されています。大統領はこの責任を負うことなく家族と資産ごとロシアへ亡命しました。反体制派への権力移行やその後の統治は不透明で、シリア情勢は中東の混乱に拍車をかけそうです。

ノルウェーのノーベル賞委員会は2024年10月11日、2024年のノーベル平和賞を日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協、結成1956年8月)に授与すると発表しました。長年にわたる地道な活動で被爆の実相を世界に説き、核兵器の非人道性を明らかにし、核兵器禁止条約へのうねりをつくり出してきた努力が実を結びました。

原水爆禁止運動の端緒となったのは、1954年3月、ビキニ環礁付近でのアメリカの水爆実験により大量の放射性降下物「死の灰」を第五福竜丸の乗組員が浴び(通称ビキニ事件)、うち1名(久保山愛吉さん)がその年に亡くなったことです。その後、国民的平和運動として成長してきましたが、保革間の相克やイデオロギー対立のなかで頓挫し、政府は何することなく、今日まで世界に架けるほどの大きな運動に発展することはありませんでした。

2024年12月10日、ノーベル平和賞授賞式はオスロで開催されました。



ふるさとご来賓からの土産  
(第37回総会懇親会)

私が東京立川市に住んでおった二十歳前後のころ、都内の百貨店で開催された原爆展を見に行きました。無残にも熱線で焼かれ、ケロイドと化した身体全体の写真が展示壁に幾つもありました。図書「私が原爆計画を指揮した…マンハッタン計画の内幕(1964)」もよく読みました。(二之瀬和夫記)



③らいてうの家で山下先生を囲んで



①節分によみがえる山家神社

②善に挑むわらわの強面

(①、②、および③の記事は9ページにあります)

はじめ  
音楽スタジオ 肇

お問い合わせ(荻原)  
090-8442-2317  
keiji-1214-ogi@docomo.ne.jp  
http://ameblo.jp/music-studio-hajime

中野駅  
丸井  
音楽スタジオ肇  
中野区中野2-12-12 勸業ビルB1F  
JR中野南口より徒歩3分



# 祝 東京真田町の会

－ 会報 37 号 －





## 祝 東京真田町の会

－会報 37 号－



くらしによろこび創りませんか  
**信州うえだ農業協同組合**  
代表理事組合長 眞島 実

〒386-8668 長野県上田市大手2丁目7番10号 TEL0268-25-7800 FAX0268-25-7820

日本ダボス 令和7(2025)年1月20日発行

発行者 東京真田町の会 会長 深町 共榮

発行者住所 〒366-2203 長野県上田市真田町傍陽 825-7, Tel & Fax 0268-75-3886

編集 一之瀬和夫 (編集長)、深町共榮 (会長、事務局長)

印刷 上田市住吉：精巧堂 (株)アオヤギ印刷